

令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：財務課
 担当名：財産管理担当
 内線：6648

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B8	県立学校グラウンド整備事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育財産管理費	県立学校建物等維持管理費	
事業期間	平成20年度～	根拠法令	なし			宣言項目			
						分野施策	030622 質の高い学校教育の推進		
1 事業の概要 県立学校のグラウンドは、開校より年数が経過しており風雨による表土の流出や、使用に伴う劣化などで教育活動に支障をきたしている状況である。 表面の状態等が悪化したグラウンドを整備し、浮き石や凹凸、水捌けの悪さを改善することで、生徒が安心して安全に授業や部活動が行える環境を整備する。				5 事業説明 (1) 事業内容 流出した表土の補充・整正によるグラウンド整備工事を実施し、生徒の怪我の原因となる浮き石や凹凸、降雨後のグラウンド使用の支障となる水はけの悪さ、砂塵の発生等を改善する。 その他学校教育活動や部活動に支障のないよう整備を行う。 ア 高等学校グラウンド整備事業 6校 103,794千円 イ 特別支援学校グラウンド整備事業 1校 17,299千円 ウ 高等学校グラウンド代替地整備 1校 151,858千円 エ 区画整理地内保留地購入費 1校 162,594千円					
(1) 高等学校グラウンド整備事業 △986千円 工事請負費に係る入札差金による減 (2) 高等学校グラウンド代替地整備 △13,207千円 工事請負費に係る入札差金等による減 (3) 区画整理地内保留地購入費 △16千円 公有財産購入費に係る契約差金による減				(2) 事業計画 グラウンドは経年劣化するため定期的な改修が必要であり、全ての県立学校を計画的に改修する。 ア 令和元年度 (ア) グラウンド改修 7校 (県立高校6校、特別支援学校1校) (イ) グラウンド代替地整備 1校 (ウ) 保留地購入 1校					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				(3) 事業効果 生徒が安心して安全に授業や部活動が行える環境を整備する。 平成30年度 10校(熊谷高校、日高高校、草加東高校、桶川高校、白岡高校、鶴ヶ島清風高校、入間わかくさ高等特別支援学校、浦和高校、八潮南高校) 平成29年度 8校(春日部高校、熊谷商業高校、狭山工業高校、本庄高校、川越南高校、朝霞西高校、深谷はばたき特別支援学校、川越高校)					
3 地方財政措置の状況 なし				(4) 補正予算の概要 ア 高等学校グラウンド整備事業：工事請負費に係る入札差金による減 イ 高等学校グラウンド代替地整備：工事請負費に係る入札差金等による減 ウ 区画整理地内保留地購入費：公有財産購入費に係る契約差金による減					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.3人=2,850千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△14,209	県 債						△209	421,336
現計額	435,545							2,545	